田尻

第 3 号

発行日	平成30年11月30日
発行	田尻学区コミュニティ推進会 田尻地区社会福祉協議会
発行責任者	大森健一
編集	広報部
事務局	田尻交流センター
電話・FAX	(42)1552

清流が蘇った田尻川

一致協力して田尻川清掃

10月14日、第16回田尻川清掃が少し肌寒い気温だが、まずまずの天気に恵まれ、各支部から多くの方が参加し予定通り実施された。

今年は多少持ち場が変った支部もあったが特に問題や事故もなかった。さらに今夏の猛暑の影響で雑草が伸びていて作業の困難も予想されたが、一致協力して田尻川がきれいに蘇った。特に上流部の上田尻地区は例年以上に草が伸びていて苦労した。

地域の皆さまのご理解とご協力に感謝します。

多数の人が川底に入り清掃（赤羽・上相田支部）

国体に向けて花いっぱい運動

「思い出に残る大会へ」交流センターで参加

2019年茨城国体が9月28日から10月8日まで開催される。大会成功のため、花いっぱい運動を各地で展開している。

田尻学区では、お客様におもてなしの気持ちを伝え、思い出に残る大会にすることを目的として、交流センターで日々苗を育てている。それらは、来年10月のぷら・スポフェスタや、本大会時に各会場や周辺道路沿道に飾り花をする予定。

きれいになった川底（上田尻支部）

花々で国体をおもてなし

今後の主な予定

12月2日（日）青少年連絡協議会
12月8日（土）～9日（日）交流センター臨時休館日（茨城県議会議員選挙）
12月15日（土）交流センター大掃除
12月21日（金）市報梱包（新春号）
12月29日（土）～1月4日（金）交流センター休館日
1月12日（土）田尻学区新春顔合わせ会
1月18日（金）市報梱包
1月31日（木）広報紙「田尻」発行

体育振興会

三世代レクと健康の集い

平成最後、30回目の記念大会

9月30日、三世代レクと健康の集いが、大型台風24号が接近する雨模様の中、田尻小学校体育館で開催された。

白熱した集団対抗玉入れ

まず、健康づくり推進部のリードで、日立の宝「ラジオ体操」を全員で行い身体をほぐした。集団競技は玉入れなどが実施され、さらにパン食い競争、買い物競争などの自由参加種目に楽しく取り組み、怪我も無く、親睦を深めた。また、健康コーナーでは、血圧測定などの健康度チェック、保健センターの保健師による健康相談が好評だった。

最後に、大抽選会が行われ、洗剤セット、新米、商品券やラッキー賞の発表で名前が呼ばれるたび、歓声とため息が聞こえ、平成最後の田尻学区の体育の祭典が幕を閉じた。

三世代で楽しんだパン食い競争

文化協会

田尻学区文化祭

10月20～21日、交流センターにおいて田尻学区文化祭が開催された。

屋外では勇壮な陸前濱太鼓が披露された

屋外では模擬店、フリーマーケットや陸前濱太鼓が行われ、「山菜おこわ」が好評だった。ホールでは、絵画・手芸・木工・川柳・折り紙・絵手紙など多数の作品が展示され、体験コーナーも含め、来館者の方々が楽しんでいた。2階の和室では、お茶席が2席設けられ、日本文化に触れる事が少ないなか、のんびりとお茶をたしなむことが出来た。

今後、さらに魅力ある文化祭になるよう期待したい。

「あじさいの会」の折り紙など多数の展示品

部会だより

健康づくり・文化芸能推進部

幸福の黄色いTシャツでダンスを披露

日立金属エンタメショーに出演

♪ズン ズンズン ズンドコ たじり♪

10月14日、日立金属日高工場正門駐車場で「2018日立金属C・Cフェスタ」が開催された。

健康づくり及び文化芸能推進部のメンバーは金属エンタメショーに出演し、「いきいきゆめダンス2019」と「きよしのズンドコ節」を披露。田尻カラーでイベントを盛り上げた。

青少年健全育成部

ポケットくらぶ

かみね動物園へ

10月4日、親子でかみね動物園に行き、スタンプラリーを楽しんだ。

ゾウさんの前で記念写真を撮影し、マップを手に園内を回りながら動物とふれあった。最後にカバさんハウスに集合して、スタッフよりおやつをいただき、楽しいひとときを過ごした。

ゾウさんの前で「ハイチーズ」

支部トピックス

上田尻支部

忘れられていた秋葉神社の幟旗

火伏の神、秋葉神社に奉納された幟旗（麻織の生地）が、旧家の倉庫から出てきた。大正4年2月につくられ、田尻宿氏子一同と記載があり、百数年前奉納されたものである。

当時、田尻宿では火災が多発しており、静岡県の遠州秋葉神社から分祀したと伝えられる。

人間生活になくてはならない火であるが、取り扱いを間違えると大変な事になる。現代においても、火の用心には十二分に心がけて行きたいものだ。

発見された秋葉神社の幟旗

『ふるさとの民俗』㉛

「栄蔵小屋」という名の島

田尻浜支部　大森　政美

田尻浜に「栄蔵小屋」と呼ばれた島がありました。元禄十年（一六九七）、水戸黄門で知られている徳川光圀が島に橋を架けて渡った史実があり、元禄常陸国絵図には島から陸地への橋が描かれています。文化八年（一八一一）、『美ち艸』という地誌に島に何本かの木々が描かれています。天保一五年（一八四四）以前に作成された田尻村絵図にも描かれています。江戸時代の街道、岩城相馬街道（現在の県道十号線）沿いに建てられた栄蔵小屋への道標は今に遺されています。これらのことから昔から「栄蔵小屋」という島は有名で、その名が知られていたことがわかります。

天保年間　文化8年　元禄10年

各時代に描かれた栄蔵小屋の島絵図

日立の魅力、再発見ウオーク

11月11日、菊蕚る交流センターから田尻ふるさと寺社めぐりがスタート。渡志観音の石仏・石塔を拝観。東光院、種殿神社に参加者の健康、不老長寿、家内安全を祈願し、上の代遺跡・猿田彦太神石塔を巡り、海の見える高台の上合公園で昼食。その後、秋葉神社、田尻小学校発祥の地、発蒙舎記念碑などを見学し、ウォークが無事終った。

渡志観音の説明をする大森政美さん

田沢消防所だより

サイレンの音が聞こえたら

消防車両は緊急時、赤色灯を回しサイレンを吹鳴しながら現場に向かいます。近頃は車内の密閉性がよいので、消防車が目の前に来て慌てて道を譲るといった光景があります。緊急走行で走る車に気づいたら、道を開けてください。円滑な消防活動への協力を、よろしくお願いします。

日高交番だより

薄暮時間および夜間の交通事故防止

日立警察署 ☎（22）0110
日高交番 ☎（42）0110

夕焼けが美しい季節となりましたが、この時間帯こそ最も交通事故が発生しやすい時間帯です！

ドライバーの皆さんは、「ライトの早め点灯」に心がけライトの上下切り替えをこまめに行いましょう。

歩行者や自転車利用の皆さんは、ドライバーから見えやすいよう、白や黄色の明るい目立つ服装や反射材を活用し、「自分の姿を見せる工夫」をお願いします！

たじり短信

断捨離

今年も残り一ヶ月となった。毎年、新年の目標に断捨離を挙げるが、寒い・暑い・忙しい・疲れたなどの理由を付けて後回しにしてしまい、今の時期になって焦りと後悔の日々である▼最近読んだ本のなかに「断捨離とは、ただ捨てるだけでなく、何を残して何を捨てるかを自分なりに考え、物を通して自分と向き合いながら、断つ・捨てる・離れるを片付けにあてはめること」と書いてあった▼そこで早速、平成最後の年末に当たり、我家の「箱の中に重なる思い出の写真や手紙」「思い出多い着れなくなった洋服」「捨てられずに部屋の隅に居座る未使用品」など、一つずつ根気強く片付けて、新年を迎えたいと日々奮闘している▼来年にはスッキリした部屋を満足げに眺める自分を想像してわくわくしている。（Y・O）

楽しく盛り上がった敬老会

再会と息災に感謝

かみね天風連の阿波踊りがフィナーレを飾る

9月16日、田尻小学校体育館で、田尻学区敬老会が開催され、好天に恵まれ多くの方が参加した。

式典は、大森健一実行委員長の挨拶に始まり、小川春樹日立市長の祝辞に続き、53人の米寿者を代表して上田尻支部宮田照男さんへ褒状が贈られた。次に、田尻小1年生木村天晴さんと6年生馬籠ちひろさんから「おじいさん・おばあさんへ感謝の作文」が朗読され、皆さん感激して聞き入った。敬老者を代表して下田尻支部中川真吉さんが謝辞を述べ式典が終了した。

演芸の部は、健康づくり推進部の「ゆかた音頭」で始まり、田尻幼稚園児の体操と踊りに会場が和んだ。また、敬老者によるカラオケ・踊り・ハーモニカ演奏で盛り上がり、最後に披露されたかみね天風連による阿波踊りは、会場の皆さんも一緒に踊り、楽しい敬老会がお開きとなった。

代表で謝辞を述べる中川真吉さん

6年生馬籠ちひろさん

1年生木村天晴さん

市長より褒状を受けた宮田照男さん(左)

健康づくり推進部会　講演会

脳卒中の正しい知識と予防

講師の工藤純夫先生

11月8日、交流センターにて「脳卒中の正しい知識と予防」と題して、日立さくらクリニック院長工藤純夫先生を講師に招き講演会が行われた。工藤先生は、日頃から丁寧な診察や病気の早期発見などで、多くの方々から信頼されており、当日は、約120人もの多くの受講者が集まった。

脳卒中とは、「脳の血管が詰まったり切れたりすることで、突然起こる手足の麻痺・意識や感覚を失う」などの状態を言う。発症すると健康寿命を短くし介護の原因となる。日立市は脳卒中になる人が全国平均より多く、今後ますます増える傾向がある。

予防は、生活習慣を見直し、タバコをやめ、お酒は飲みすぎないことが大切だ。気になる症状があったらすぐに専門医に受診すること。

市内では、日立総合病院と聖麗メモリアル病院が24時間体制で検査と治療の両方が出来るので、「脳卒中を疑ったら、1分でも早く救急車を呼ぶこと」が大事であると強調されていた。

真剣に講話を聞く参加者

さんあいコーナー

ふれあい・助けあい・支えあい

人と人が
ふれあうことで
元気になれる

田尻学区教養大学

地域包括支援センターとは

11月5日、交流センターにて高齢者クラブ連合会主催の田尻学区教養大学が開かれた。地域包括支援センター・サン豊浦の田尻慶子センター長による「地域包括支援センターの活動内容について」の講話に約80人の受講者が会場を埋めた。

団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けての取り組みは、介護予防支援・生活支援体制づくりをケアマネージャー・保健師・社会福祉士などが中心になり、各関係機関と連携しながら高齢者や家族を支援するという心強い内容であった。最後に、どうしても埋められない行政の隙間は、ふれあいサロンや見守りチームなどの地域の助け合いが必要不可欠であると話された。

講師の田尻慶子さん

ふれあいサロン紹介

【下相田ほほえみサロン】

ラジオ体操で準備運動

【上相田ほっとサロン】

国民宿舎鵜の岬で、年に1度の食事会

【田沢ふれあいサロン】

大人のぬり絵はむずかしい

おもちゃライブラリー

親子で楽しく遊ぶ

【問い合わせ・申し込み】田尻地区社協　☎ 43-0075　田尻交流センター ☎ 42-1552

ふれあい健康クラブ

さんあいクラブ（交流センターグループ）

さんあいクラブ（交流センターグループ）は、月2回（第2・4金曜日）行っている。

日立市社会福祉協議会より看護師及びレクリエーション指導員が派遣され、健康づくりと機能維持を目的として、看護師による健康相談、レクリエーションや簡単な創作活動を取り入れながら介護予防のために健康体操を行っている。毎月の活動は異なるが、10月は運動会を楽しく行った。

調子はいかがですか？

運動会後、はちまき姿で

田尻交流センターだより

田尻交流センターまつり

子ども達に人気だったおもちゃ売り場

大いに盛り上がったわんこソーメン

田尻パワーで熱く燃えた8月19日、絶好のお祭り日和に恵まれ、交流センター祭りは、多くの来場者があり盛況であった。

おもちゃ売りやバルーンアートは子ども達に人気で、新鮮野菜即売も好評だった。屋外ステージでは、田尻小先生による歌と演奏、舞踊、フラダンスやカラオケが披露され、さらに健康づくり推進部による花火音頭は圧巻であった。また、わんこソーメン大会は、子ども達の頑張りに大きな声援が送られた。模擬店では焼きそば、焼き鳥、いもフライ、飲み物などで来場者の胃袋を満たした。

最後に、お楽しみ抽選会で沢山の賞品の行方に一喜一憂し、祭りが幕となった。

「よさこいどっこいしょ」を踊るフレッシュダンベルの会

緑のカーテン料理教室

9月3日、沖縄料理研究家高山厚子さんを講師に招き、ゴーヤとヘチマを使った料理教室が開催された。

グループごとに分担して7品目を同時進行で作り、指導する先生は大忙しの中、料理が完成した。紅芋フレークを入れて炊いた紫色のご飯に、具材にゴーヤとヘチマの入ったメインのタコライスは、見た目・味ともに良い出来だった。食べ慣れないヘチマがとても美味しくて、来年のグリーンカーテンではヘチマに挑戦しようとの声も聞こえた。

ゴーヤとヘチマ料理作り

利用団体紹介

【田尻暉会（ひかりかい）（煎茶道）】

◆毎月　第1・2・3水曜日
◆午後1時30分～4時
◆2階和室

普段何気なく飲んでいるお茶、煎茶にもお作法があります。玉露のお茶を茶葉の量とお湯の温度加減で、トロリとした家庭ではなかなかできない味になります。

まだ3年目のサークルで、会員も7名と少ないですが、常時募集中です。どうぞ、いつでも遊びに来て下さい。歓迎します。

文化祭でお点前を披露

男性のための料理教室

自分の健康をチェックし体にやさしい料理作り

9月28日、（市）食生活改善推進会主催「男性のための料理教室」が開催された。まず、「栄養のうた」を全員で合唱し、ヘルスメイトの指導によりキャロットラペサンド、おくらのスープ、大学いもに挑戦した。手際よく材料をきざみ・調理し、ボリューム満点の料理を試食して満足。楽しいひとときであった。

和やかにおくらスープを調理

2階ギャラリーの案内

12月　折り紙4人展
1月　田尻幼稚園園児作品展
2月　ふるさと歩こう会
3月　絵画4人展

2階ギャラリー展示希望者を募集しております。

連絡先　田尻交流センター
☎（42）1552

編集後記

毎週のようにやってきた激烈な台風が、日本のいたる所に被害をもたらし、情報の収集と早めの避難、災害への備えの重要性が再認識された。皆さんのお宅は大丈夫ですか？